

【学位】

博士（文学・東北大学），国立音楽大学藝術学修士

【主な職歴】

東京女子体育大学・横浜薬科大学・北里大学一般教育部非常勤講師ほかを経て，

現在，埼玉医科大学医学部・日本薬科大学薬学部非常勤講師

担当科目：ドイツ語圏の言語と文化 ほか

【主な業績】

1 著書

初版の年月

- 1) 2017 年 7 月 ヴィルヘルム・ミュラーの生涯と作品 —— 『冬の旅』を中心に
Wilhelm Müller's Life and Works — Poet of "The Winter Journey (Die Winterreise)"
東北大学出版会（単著，査読付き）ISBN 978-4-86163-276-1
- 2) 2011 年 4 月 Guten Tag!
DTP 出版（単著） 改訂版 2012 年 3 月，電子書籍 2016 年 6 月
改訂版第 5 刷 2019 年 3 月 ISBN 978-4-86211-700-7
- 3) 2004 年 3 月 グーテン モルゲン！
DTP 出版（共著） 改訂版 2006 年 3 月 ISBN 978-4-86211-104-3
- 4) 1996 年 2 月 グーテ・ライゼ！
三修社（共著）

2 主な論文（すべて単著）

- 1) 2019 年 12 月 リュッケルトの『亡き子を偲ぶ歌』の成立をめぐって
Zur Entstehung der *Kindertodtenlieder* Friedrich Rückerts
『東北ドイツ文学研究』第 60 号
東北ドイツ文学会・日本独文学会東北支部，63-78 頁

2) 2018 年 12 月 ヴィルヘルム・ミュラーのノヴェレに投影された人物像

Charaktere der Novellen Wilhelm Müllers

『東北ドイツ文学研究』第 59 号

東北ドイツ文学会・日本独文学会東北支部, 67-82 頁

3) 2012 年 10 月 ゲーテとシューベルト

—— 「糸を紡ぐグレートヒェン」と「魔王」を中心に

Goethe und Schubert

— mit Schwerpunkt auf *Gretchen am Spinnrade* und *Erlkönig*

『ゲーテ年鑑』第 54 巻 日本ゲーテ協会, 34-49 頁 (査読付き)

「ゲーテの音楽観およびゲーテのシューベルト評価、ならびにシューベルトによる詩の解釈表現については、否定的な見解が少なくない。……ゲーテが有節形式を愛好したことは確かである。だがベートーヴェンやシューベルトこそ、有節形式の優れた作品を数々残しており、……トマーシェクの逸話には、ゲーテの言動と考えとの矛盾が明確に表れている。……詩人にとっては、形式や技巧の問題ではなく、音楽が詩に拮抗するような芸術性を持たないことが重要だったということが理解されるであろう」(渡辺美奈子「ゲーテとシューベルト」『ゲーテ年鑑』第 54 巻, 34-35 頁より)

4) 2010 年 6 月 ヴィルヘルム・ミュラーの詩作と生涯 —— 『冬の旅』を中心に

Poesie und das Leben Wilhelm Müllers

— mit dem Schwerpunkt auf dem Zyklus *Die Winterreise*

雄松堂内日本博士論文登録機構 ISBN 978-4-904742-11-2

2009 年度東北大学文学研究科文化科学専攻博士論文 全 264 頁 (査読付き)

5) 2008 年 8 月 愛のない心とは……韻のない詩のようなもの

—— 『冬の旅』から「おやすみ」の韻律と分析

Was ist das Herz ohne Liebe? ... Wie ohn' Reim ein Gedicht

— Metrum und Analyse des Liedes *Gute Nacht* aus der *Winterreise*

『東北ドイツ文学研究』第 51 号

東北ドイツ文学会・日本独文学会東北支部, 19-36 頁 (査読付き)

6) 2006 年 10 月 『冬の旅』の根底にあるもの

—— ヴィルヘルム・ミュラーのベルリン、ブリュッセル時代

Wurzeln der „Winterreise“ — Wilhelm Müllers Zeit in Berlin und Brüssel

『ゲーテ年鑑』第48巻 日本ゲーテ協会, 83-102 頁 (査読付き)

7) 2004 年 10 月 Goethes vier „Mignon“ -- Gedichte aus „Wilhelm Meisters Lehrjahre“

—— Schuberts Interpretationen als Trauermarsch —— (ドイツ語)

『ゲーテ年鑑』第46巻 日本ゲーテ協会, 47-62 頁 (査読付き)

ほか

3 書評 (すべて単著)

1) 2016 年 5 月

香田芳樹 編著 今泉文子 ほか著

『＜新しい人間＞の設計図 ドイツ文学・哲学から読む』(青灯社, 2015)

Flaschenpost Nr.36, 2015, ゲルマニスティネンの会, 15 頁

2) 2012 年 5 月

エバーハルト・シュトラウプ 著 岩渕達治・藤倉孚子・岩井智子 訳

フルトヴェングラー家の人々——あるドイツ人家族の歴史 (岩波書店, 2011)

Flaschenpost Nr.33, 10. Mai 2012, ゲルマニスティネンの会, 17 頁

4 冊子に掲載された主な読み物 (すべて単著)

1) 2013 年 3 月 マーラーの『嘆きの歌』と日本の民話

「Symphony」 東京交響楽団 2013 年 3 月号, 21-23 頁

2) 2013 年 1 月 エルンストとルイーゼを偲ぶ歌

「Symphony」 東京交響楽団 2013 年 1、2 月号, 32-34 頁

3) 2012 年 12 月 角笛 —— ドイツの音、ドイツの心

「Symphony」 東京交響楽団 2012 年 12 月号, 22-24 頁

4) 2012 年 10 月 多才な詩人リュッケルト

「Symphony」 東京交響楽団 2012 年 10 月号, 22-24 頁

5) 2012 年 7 月 『さすらう若者の歌』と『冬の旅』

「Symphony」 東京交響楽団 2012 年 7 月号, 19-21 頁

6) 2012 年 5 月 ヴィルヘルム・ミュラーのゲーテ訪問

- 『べりひて』 日本ゲーテ協会発行, 4-7 頁
- 7) 2012 年 5 月 「生は暗く死も暗い」—— マーラーとジャン・パウル
「Symphony」 東京交響楽団 2012 年 5 月号, 20-22 頁
- 8) 2012 年 4 月 マーラーと書物
「Symphony」 東京交響楽団 2012 年 4 月号, 14-16 頁
- 9) 2011 年 1 月 マーラーの交響曲第 1 番に生きる『冬の旅』
「Symphony」 東京交響楽団 2011 年 1 月号, 10-11 頁
- ほか
- 5 口述発表 (すべて単独発表)
- 1) 2019 年 11 月 9 日 バッハとヘンリーツィ (ピカンダー) の『マタイ受難曲』
東北ドイツ文学会 (日本独文学会東北支部) 第 62 回研究発表会
東北大学文学研究科棟
- 2) 2018 年 10 月 20 日 リュッケルトの『亡き子を偲ぶ歌』の成立をめぐって
東北ドイツ文学会 (日本独文学会東北支部) 第 61 回研究発表会
福島市男女共同参画センター「ウィズ・もとまち」
- 3) 2017 年 10 月 28 日 ヴィルヘルム・ミュラーの小説に投影された人物像
東北ドイツ文学会 (日本独文学会東北支部) 第 60 回研究発表会
東北大学 川内北キャンパス 講義棟 C 棟
- 4) 2012 年 11 月 3 日 ゲーテによるシューベルト評価の実像
ゲーテ自然科学の集い 研究発表会
慶應義塾大学 三田キャンパス 研究室棟
- 5) 2012 年 7 月 7 日 ゲーテとシューベルト
——「魔王」と「糸を紡ぐグレートヒエン」を中心に
ゲルマニスティネンの会関東支部夏期研究会
早稲田大学国際会議場
- 6) 2011 年 6 月 3 日 ゲーテとシューベルト ——「糸を紡ぐグレートヒエン」を中心に
日本ゲーテ協会シンポジウム「ゲーテと音楽」
ドイツ文化会館 OAG ホール
- 7) 2009 年 6 月 5 日 人生と愛の歌 —— ヴィルヘルム・ミュラーの『冬の旅』

ドイツ語圏文化研究会

東北大学 川内南キャンパス 文学研究科棟

- 8) 2008 年 11 月 15 日 『冬の旅』における誠実
東北ドイツ文学会・日本独文学会東北支部第 51 回研究発表会
福島大学サテライト

- 9) 2008 年 4 月 6 日 愛のない心とは何か……韻のない詩のようなもの
——『冬の旅』から「おやすみ」の韻律と分析
ゲーテ自然科学の集い 東京例会
慶應義塾大学 三田キャンパス 研究室棟

- 10) 2008 年 1 月 11 日 『冬の旅』より「おやすみ」の韻律と分析
ドイツ語圏文化研究会
東北大学 川内北キャンパス講義棟

- 11) 2007 年 5 月 25 日 時代は芸術を支配する
——ヴィルヘルム・ミュラーの詩と生涯
ドイツ語圏文化研究会
東北大学 川内南キャンパス 文学研究科棟

- 12) 2005 年 3 月 27 日 『冬の旅』と W.ミュラーのベルリン、ブリュッセル時代
ゲーテ自然科学の集い 京都例会
京都大学大学院 人間・環境学研究科棟

- 13) 2004 年 10 月 10 日 ヴィルヘルム・ミュラーの「冬の旅」—— 動機、思想、未知の同伴者
ゲーテ自然科学の集い 東京例会
慶應義塾大学 三田キャンパス 研究室棟

6 研究報告（すべて単著）

- 1) 2004 年 9 月 Dana Dana/ Dona Dona
「Bäume」 第 3 号 51-59 頁
- 2) 2002 年 10 月 Die Beziehungen der einigen Deutschen zu der Ritterlichkeit in Aizu
「Bäume」 第 2 号 1-11 頁
- 3) 2001 年 10 月 Kompositionsverfahren und Aufführungspraxis Schuberts

ほか

7 講座・講演等

- 1) 2014年10月25日 「シューベルトの歌曲『ます』について」(客演)
としまコミュニティ大学, 東京音楽大学
- 2) 2012年11月20日 マーラーの歌曲集『さすらう若者の歌』の魅力(単独講座)
かわさき市民アカデミー音楽特別講座, ミューザ川崎市民交流室
- 3) 2007年3月29日 シューベルトの記譜法 ―― ことばとの関連から(単独講演)
樹の会, 国分寺市 いずみホール
- 4) 2006年1月14日 『冬の旅』とヴィルヘルム・ミュラーのベルリン、ブリュッセル時代
(単独講演), 樹の会, 国分寺市 いずみホール

8 メディア関連

WOWOW スピンオフ『LINK〜ふがいない僕の格言日記〜』 2013年10〜11月
「時間と好機」(ヴィルヘルム・ミュラー) 訳詩

ほか